

第10回「わのうち未来塾」報告

- 1 期 日 令和4年8月19日（金）
9時30分から11時30分
- 2 講 師 町保健センター保健師 迫口理恵係長
助産師 高橋珠美 田邊むつえ
- 3 場 所 文化会館リトルホール
- 4 参加者 4年 7名（欠7名）、5年 8名（欠1名）、6年 6名（欠1名）
- 5 内 容 自分の大切さを知ろう

○助産師の話

- ・助産師の仕事について
- ・受精卵の大きさは
黒い紙の穴（直径0.1mmの穴が開けてある）を見る。
- ・受精とは
3億分の1の精子と700万分の1の卵子が1つの細胞になること
- ・流産は15%の割合で起こる。
- ・赤ちゃんは子宮の中では羊水に浮かんでいる。
- ・陣痛を起こすのは赤ちゃんである。
- ・出産時に赤ちゃんはどのように骨盤を通り抜けるか。模型により実演
- ・陣痛による出産と帝王切開の説明。
逆子とは、子宮内で頭が上で座った状態の赤ちゃん。
- ・出産前の赤ちゃんの心音を聞く。
- ・人間の赤ちゃんは、受精後、38週で生まれてくる。
- ・家庭で出産された方のスライドをみる。（数家族分）

○胎児体験 胎児、お母さん、家族の役割で

- ・6つのグループに分かれて体験する。
- ・赤ちゃん役は、子宮（特製寝袋）に潜り込む。
- ・子宮内の音を全員聞く。（子宮内の音が流れる。）
- ・母親役と家族役は赤ちゃんに声をかけてやる。
- ・母親役と家族役は赤ちゃんをさすってやる。
- ・赤ちゃん役は子宮より出てくる。母親役は赤ちゃんを抱っこする。

○赤ちゃんの模型を抱く。（希望者 約半数体験）

- ・出産時（37～42週）の赤ちゃんの赤ちゃん模型を抱いてみる。

